

J-ZBI の総得点は平均 19.1 点、標準偏差 7.4 点、中央値 18 点であった。Personal Strain の平均は 11.9 点、標準偏差 4.7 点、中央値 11 点であった。Role Strain の平均は 7.2 点、標準偏差 3.3 点、中央値 7 点であった。

表 353 J-ZBI の得点分布 (n=456)

	度数	平均値	標準偏差	最小値	中央値	最大値
総得点	447	19.1	7.4	8	18	40
Personal Strain	456	11.9	4.7	5	11	25
Role Strain	455	7.2	3.3	3	7	15

結果 6. 診療所医師と訪問看護師の回答の比較

6-1. 臨時対応が発生した理由

状態急変、事故、患者の不安、家族の不安という選択肢に関して、診療所医師と訪問看護師で回答が一致したのはそれぞれ 74.7%、97.4%、79.8%、68.2%であった。

表 354 臨時対応が発生した理由・状態急変の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	83	52.5%	21	13.3%
	いいえ	19	12.0%	35	22.2%

表 355 臨時対応が発生した理由・事故の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	1	0.6%	2	1.3%
	いいえ	2	1.3%	153	96.8%

表 356 臨時対応が発生した理由・患者の不安の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	8	5.1%	13	8.2%
	いいえ	19	12.0%	118	74.7%

表 357 臨時対応が発生した理由・家族の不安の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	20	12.7%	11	7.0%
	いいえ	44	27.8%	83	52.5%

6-2. 患者の転帰

患者の転帰に関する質問で回答が一致したのは、84.2%であった。診療所医師と訪問看護師の一方が在宅療養を継続していると判断したものの、もう一方は死亡したと判断した事例も存在した。

表 358 患者の転帰に関する回答の比較 (n=132)

		訪問看護師					
		在宅療養 継続	救急搬送後 外来受診で 帰宅	救急搬送 後入院	施設 入所	死亡	その他
診療所 医師	在宅療養継 続	56.1%	0.0%	0.8%	0.0%	2.3%	3.8%
	救急搬送後 外来受診で 帰宅	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
	救急搬送後 入院	0.8%	0.0%	11.4%	0.0%	0.0%	0.8%
	施設入所	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	死亡	3.8%	0.0%	0.8%	0.0%	15.2%	0.8%
	その他	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%

6-3. 医学的見地からみた臨時対応の必要性

回答が一致したのは、89.4%であった。

表 359 医学的見地からみた臨時対応の必要性に関する回答の比較 (n=132)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	117	88.6%	6	4.5%
	いいえ	8	6.1%	1	0.8%

6-4. 選択した事例において実際の対応以外に取り得た対応

「電話で話して終了」、「すぐに医師が訪問」、「すぐに看護師が訪問」、「朝まで待って医師が訪問」、「朝まで待って看護師が訪問」、「すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問」、「すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問」、「訪問せずに病院への救急搬送を指示」の選択肢に関して、回答が一致したのはそれぞれ 84.1%、69.6%、69.0%、88.6%、87.3%、88.6%、89.9%、81.0%であった。

表 360 実際の対応以外に取り得た対応・電話で話して終了の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	4	2.5%	15	9.5%
	いいえ	10	6.3%	129	81.6%

表 361 実際の対応以外に取り得た対応・すぐに医師が訪問の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	19	12.0%	21	13.3%
	いいえ	27	17.1%	91	57.6%

表 362 実際の対応以外に取り得た対応・すぐに看護師が訪問の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	8	5.1%	27	17.1%
	いいえ	22	13.9%	101	63.9%

表 363 実際の対応以外に取り得た対応・朝まで待って医師が訪問の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	1	0.6%	12	7.6%
	いいえ	6	3.8%	139	88.0%

表 364 実際の対応以外に取り得た対応・朝まで待つて看護師が訪問の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	1	0.6%	10	6.3%
	いいえ	10	6.3%	137	86.7%

表 365 実際の対応以外に取り得た対応・すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	1	0.6%	14	8.9%
	いいえ	4	2.5%	139	88.0%

表 366 実際の対応以外に取り得た対応・すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	0	0.0%	7	4.4%
	いいえ	9	5.7%	142	89.9%

表 367 実際の対応以外に取り得た対応・訪問せずに病院への救急搬送を指示の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	9	5.7%	22	13.9%
	いいえ	8	5.1%	119	75.3%

6-5. 選択した事例における夜間休日臨時対応の事前の取り決め

取り決めの有無を尋ねた項目では、91.8%がいずれも「はい」と回答しており、回答が一致していた。

表 368 選択した事例における夜間休日臨時対応の事前の取り決めの有無の比較 (n=147)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	135	91.8%	2	1.4%
	いいえ	10	6.8%	0	0.0%

最初の連絡機関に関する取り決めで、「診療所」で一致したのは26.0%、「訪問看護ステーション」で一致したのは49.6%であった。

表 369 取り決めていた最初の連絡機関の比較 (n=123)

		訪問看護師		
		診療所	訪問看護ステーション	その他
診療所医師	診療所	26.0%	11.4%	0.0%
	訪問看護ステーション	3.3%	49.6%	1.6%
	その他	0.0%	4.9%	3.3%

※診療所医師、訪問看護師のいずれも取り決めがあると回答した方に限って集計した。

最初の連絡職種に関する取り決めで、「医師」で一致したのは10.2%、「看護師」で一致したのは68.5%であった。一方、診療所医師側は「医師」と考え、訪問看護師側は「看護師」と考えていた事例は14.2%あった。

表 370 取り決めていた最初の連絡職種の比較 (n=127)

		訪問看護師			
		医師	看護師	事務スタッフ	その他
診療所医師	医師	10.2%	14.2%	0.8%	0.8%
	看護師	0.8%	68.5%	0.0%	0.8%
	事務スタッフ	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%
	その他	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%

最初の対応方法では、「主治医へ連絡」で一致していたのが 60.7%を占めていた。一方で、診療所医師側は「主治医へ連絡」と考えていたが、訪問看護師側は「訪問看護ステーションの管理者へ連絡」と考えていた事例も 18.0%あった。

表 371 取り決めていた最初の対応方法の比較 (n=122)

		訪問看護師				
		主治医へ 連絡	訪問看護ステ ーションの管 理者へ連絡	当直医 へ連絡	病院へ搬 送する	その他
診療所 医師	主治医へ連絡	60.7%	18.0%	0.8%	0.0%	3.3%
	訪問看護ステ ーションの管理者 へ連絡	4.1%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	当直医へ連絡	1.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	病院へ搬送する	2.5%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
	その他	2.5%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%

6-6. 夜間休日の連絡方法の事前説明

91.1%で回答が一致していた。

表 372 夜間休日の連絡方法に関する事前説明の有無の比較 (n=158)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	144	91.1%	1	0.6%
	いいえ	3	1.9%	0	0.0%

6-7. 予測される状態と対応方法の事前説明

事前説明の有無に関しては、93.9%で回答が一致していた。

表 373 予測される状態と対応方法の事前説明の有無の比較 (n=149)

		訪問看護師			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	137	91.9%	5	3.4%
	いいえ	4	2.7%	3	2.0%

対応方法を説明していた職種では、48.1%しか回答が一致しておらず、診療所医師側は「医師」と考えていたが、訪問看護師側は「看護師」と考えていた事例が50.6%と多くなっていた。

表 374 予測される状態と対応方法を患者・家族に説明していた職種の比較 (n=79)

		訪問看護師					
		医師		看護師		その他	
		度数	割合	度数	割合	度数	割合
診療所医師	医師	20	25.3%	40	50.6%	0	0.0%
	看護師	0	0.0%	18	22.8%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%

※予測される状態と対応方法を事前に説明していたと回答した方によって集計した。

患者の理解度に関しては、一方が「全く理解していなかった」と回答したにも関わらず、一方が「とてもよく理解していた」と回答した事例はなかった。ただし、「よく理解していた」と回答した事例は散見された。家族の理解度に関しては、一方が「あまり理解していなかった」と回答し、もう一方が「よく理解していた」と回答した事例が散見された。

表 375 予測される状態と対応方法の説明に対する患者の理解度の比較 (n=133)

		訪問看護師				
		全く理解していなかった	あまり理解していなかった	どちらともいえない	よく理解していた	とてもよく理解していた
診療所医師	全く理解していなかった	9.8%	2.3%	5.3%	1.5%	0.0%
	あまり理解していなかった	5.3%	4.5%	5.3%	5.3%	0.0%
	どちらともいえない	4.5%	2.3%	6.8%	6.0%	3.8%
	よく理解していた	3.0%	2.3%	4.5%	18.8%	4.5%
	とてもよく理解していた	0.0%	0.0%	3.0%	0.8%	0.8%

※予測される状態と対応方法を事前に説明していたと回答した方に限って集計した。

表 376 予測される状態と対応方法の説明に対する家族の理解度の比較 (n=135)

		訪問看護師				
		全く理解していなかった	あまり理解していなかった	どちらともいえない	よく理解していた	とてもよく理解していた
診療所医師	全く理解していなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	あまり理解していなかった	0.0%	0.7%	3.0%	3.7%	0.0%
	どちらともいえない	0.0%	3.0%	4.4%	4.4%	1.5%
	よく理解していた	0.0%	0.7%	6.7%	41.5%	13.3%
	とてもよく理解していた	0.0%	0.0%	1.5%	8.1%	7.4%

※予測される状態と対応方法を事前に説明していたと回答した方に限って集計した。

結果 7. 診療所医師の回答と患者の回答の比較

7-1. 臨時対応が発生した理由

「状態急変」、「事故」、「患者の不安」、「家族の不安」の選択肢で回答が一致していたのは、それぞれ 68.3%、93.6%、78.9%、68.2%であった。

表 377 臨時対応が発生した理由・状態急変の比較 (n=236)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	125	53.0%	27	11.4%
	いいえ	48	20.3%	36	15.3%

表 378 臨時対応が発生した理由・事故の比較 (n=236)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	2	0.8%	2	0.8%
	いいえ	13	5.5%	219	92.8%

表 379 臨時対応が発生した理由・患者の不安の比較 (n=236)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	11	4.7%	29	12.3%
	いいえ	21	8.9%	175	74.2%

表 380 臨時対応が発生した理由・家族の不安の比較 (n=236)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	22	9.3%	37	15.7%
	いいえ	38	16.1%	139	58.9%

7-2. 患者の転帰

58.1%が「在宅療養継続」で一致していたが、診療所医師が「死亡」と判断したが、患者側が「在宅療養継続」と回答した事例が6.9%あった。

表 381 患者の転帰に関する比較 (n=203)

		患者					
		在宅療養継続	救急搬送後外来受診で帰宅	救急搬送後入院	施設入所	死亡	その他
診療所医師	在宅療養継続	58.1%	2.0%	1.5%	0.0%	0.0%	2.0%
	救急搬送後外来受診で帰宅	1.5%	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	救急搬送後入院	1.0%	0.0%	15.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	施設入所	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	死亡	6.9%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	4.9%
	その他	1.0%	0.5%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%

7-3. 夜間休日の連絡方法の事前説明

事前説明の有無については、91.6%で回答が一致した。

表 382 夜間休日の連絡方法の事前説明の有無の比較 (n=190)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	170	89.5%	8	4.2%
	いいえ	8	4.2%	4	2.1%

夜間休日の最初の連絡先については、診療所医師側が「診療所」と回答したが、患者側が「訪問看護師」と回答した事例が 9.9%、患者側が「普段から訪問診療をしている医師」と回答したが、診療所医師側は「訪問看護ステーション」と回答した事例が 5.7%あった。

表 383 夜間休日の最初の連絡先の比較 (n=141)

		患者				
		普段から訪問診療 をしている医師	訪問 看護師	事務職員	ケアマネー ジャー	その他
診療 所 医 師	診療所	39.0%	9.9%	0.7%	0.0%	2.8%
	訪問看護ス テーション	5.7%	34.8%	0.0%	0.0%	0.7%
	その他	2.8%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%

※夜間休日の連絡方法について説明があったという方に限って集計した。

7-4. 予測される状態と対応方法の事前説明

事前説明の有無については、診療所医師側が説明したと回答したが、患者側が説明はなかったと回答した事例が 7.0%あった。

表 384 予測される状態と対応方法の事前説明の有無の比較 (n=186)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	149	80.1%	13	7.0%
	いいえ	16	8.6%	8	4.3%

説明した職種に関して、診療所医師側は「医師」と回答したが、患者側は「看護師」と回答した事例が 24.5%存在した。

表 385 予測される状態と対応方法を説明した職種の比較 (n=110)

		患者			
		医師	看護師	ケアマネージャー	その他
診療所	医師	58.2%	24.5%	6.4%	0.0%
医師	看護師	2.7%	8.2%	0.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※予測される状態と対応方法について説明があったという方に限って集計した。

説明の理解度に関しては、診療所医師側が「全く理解していなかった」と回答したものの、患者側は「よく理解できた」、「とてもよく理解できた」と回答した事例が 19.3%存在した。

表 386 予測される状態と対応方法に関する説明の理解度の比較 (n=145)

		患者				
		全く理解できなかつた	あまり理解できなかつた	どちらでもない	よく理解できた	とてもよく理解できた
診療所医師	全く理解していなかつた	0.7%	0.7%	1.4%	13.1%	6.2%
	あまり理解していなかつた	0.0%	0.7%	3.4%	10.3%	2.1%
	どちらともいえない	0.0%	0.7%	2.1%	15.2%	5.5%
	よく理解していた	0.0%	1.4%	2.1%	22.8%	6.9%
	とてもよく理解していた	0.0%	1.4%	0.0%	2.8%	0.7%

※予測される状態と対応方法について説明があつたという方に限つて集計した。

結果 8. 診療所医師の回答と家族の回答の比較

8-1. 夜間休日の連絡方法の事前説明

事前説明の有無に関しては、診療所医師側が説明したと回答したが、家族側が説明はなかったと回答した事例が 4.6%あった。

表 387 夜間休日の連絡方法の事前説明の有無に関する比較 (n=174)

		家族			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	157	90.2%	8	4.6%
	いいえ	8	4.6%	1	0.6%

最初の連絡機関に関して、診療所医師側は「訪問診療ステーション」と回答したが、家族側は「いつも診てもらっている医師」と回答した事例が 8.5%、診療所医師側が「診療所」と回答したが、家族側が「訪問看護ステーションの看護師」と回答した事例が 7.8%あった。

表 388 夜間休日の最初の連絡機関に関する比較 (n=129)

		家族				
		いつも診てもらっている医師	いつもとは別の医師	診療所の看護師	訪問看護ステーションの看護師	その他
診療所医師	診療所	30.2%	0.8%	7.0%	7.8%	1.6%
	訪問看護ステーション	8.5%	0.0%	0.0%	34.9%	0.8%
	その他	5.4%	0.0%	0.8%	1.6%	0.8%

※夜間休日の連絡方法について説明があったという方に限って集計した。

8-2. 予測される状態と対応方法の事前説明

事前説明の有無に関しては、診療所医師側が説明したと回答したものの、家族側が説明はなかったと回答した事例が 5.3%あった。

表 389 予測される状態と対応方法の事前説明の有無に関する比較 (n=169)

		家族			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
診療所医師	はい	138	81.7%	9	5.3%
	いいえ	16	9.5%	6	3.6%

対応方法を説明していた職種に関しては、診療所医師側が「医師」と回答したものの、家族側は「看護師」と回答した事例が 20.0%あった。

表 390 予測される状態と対応方法を説明した職種に関する比較 (n=100)

		家族			
		医師	看護師	ケアマネージャー	その他
診療所医師	医師	62.0%	20.0%	2.0%	0.0%
	看護師	2.0%	12.0%	2.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※予測される状態と対応方法について説明があったという方に限って集計した。

説明の理解度に関しては、診療所医師側と家族側で大きな意見の食い違いはみられなかった。

表 391 予測される状態と対応方法に関する説明の理解度の比較 (n=135)

		家族				
		全く理解できなかった	あまり理解できなかった	どちらでもない	よく理解できた	とてもよく理解できた
診療所医師	全く理解していなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	あまり理解していなかった	0.0%	0.7%	0.0%	4.4%	0.7%
	どちらともいえない	0.0%	1.5%	0.7%	8.9%	1.5%
	よく理解していた	0.7%	0.0%	2.2%	43.0%	15.6%
	とてもよく理解していた	0.0%	0.0%	1.5%	11.1%	7.4%

※予測される状態と対応方法について説明があったという方に限って集計した。

結果 9. 訪問看護師の回答と患者の回答の比較

9-1. 臨時対応が発生した理由

「状態急変」、「事故」、「患者の不安」、「家族の不安」の各項目における回答の一致割合は60.3%、88.1%、74.9%、64.8%であった。

表 392 臨時対応が発生した理由・状態急変の比較 (n=395)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
訪問看護師	はい	158	40.0%	54	13.7%
	いいえ	103	26.1%	80	20.3%

表 393 臨時対応が発生した理由・事故の比較 (n=395)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
訪問看護師	はい	10	2.5%	3	0.8%
	いいえ	44	11.1%	338	85.6%

表 394 臨時対応が発生した理由・患者の不安の比較 (n=395)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
訪問看護師	はい	40	10.1%	66	16.7%
	いいえ	33	8.4%	256	64.8%

表 395 臨時対応が発生した理由・家族の不安の比較 (n=395)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
訪問看護師	はい	59	14.9%	110	27.8%
	いいえ	29	7.3%	197	49.9%

9-2. 患者の転帰

「在宅療養継続」では 60.0%の回答が一致した。

表 396 臨時対応事例における患者の転帰の比較 (n=360)

		患者			
		在宅療養継続	救急搬送後外来 受診で帰宅	救急搬送後 入院	その他
訪問看護師	在宅療養継続	60.0%	1.4%	2.5%	2.8%
	救急搬送後外来 受診で帰宅	0.8%	1.7%	0.0%	0.0%
	救急搬送後入院	1.7%	0.3%	11.1%	0.3%
	施設入所	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	死亡	4.7%	0.0%	0.3%	4.4%
	その他	4.2%	0.3%	1.1%	2.2%

9-3. 夜間休日の連絡方法の事前説明

事前説明の有無に関する質問では、97.0%の回答が一致した。

表 397 夜間休日の連絡方法の事前説明の有無に関する回答の比較 (n=333)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
訪問看護師	はい	323	97.0%	8	2.4%
	いいえ	2	0.6%	0	0.0%

最初の連絡機関について、訪問看護師が「訪問看護ステーション」と回答したものの、患者側は「普段から訪問診療をしている医師」と回答した事例が6.1%存在した。

表 398 夜間休日の連絡時の最初の連絡機関に関する回答の比較 (n=297)

		患者				
		普段から訪問診療 をしている医師	訪問看護師	事務職員	ケアマネ ージャー	その他
訪問 看護 師	診療所	9.1%	1.7%	0.0%	0.3%	0.7%
	訪問看護ス テーション	6.1%	75.4%	0.0%	0.7%	0.0%
	その他	0.7%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%

※夜間休日の連絡方法について説明があったという方に限って集計した。

9-4. 予測される状態と対応方法の事前説明

事前説明の有無に関しては、90.5%で回答が一致した。訪問看護師が「説明があった」としたが、患者側は「説明はなかった」と回答した事例も6.4%あった。

表 399 予測される状態と対応方法の事前説明の有無の比較 (n=327)

		患者			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
訪問看護師	はい	296	90.5%	21	6.4%
	いいえ	10	3.1%	0	0.0%

対応方法を説明していた職種については、73.8%が一致していた。

表 400 予測される状態と対応方法を説明していた職種 (n=233)

		患者			
		医師	看護師	ケアマネージャー	その他
訪問看護師	医師	10.3%	2.6%	0.0%	0.0%
	看護師	18.5%	63.5%	5.2%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※予測される状態と対応方法について説明があったという方に限って集計した。

説明の理解度について比較すると、訪問看護師側が「全く理解していなかった」と回答したものの、患者側は「よく理解できた」、「とてもよく理解できた」と回答した事例が 14.5% あった。

表 401 予測される状態と対応方法に関する説明の理解度の比較 (n=289)

		患者				
		全く理解できなかつた	あまり理解できなかつた	どちらでもない	よく理解できた	とてもよく理解できた
訪問看護師	全く理解していなかつた	0.3%	0.0%	1.7%	11.4%	3.1%
	あまり理解していなかつた	0.0%	0.3%	3.1%	4.5%	2.4%
	どちらともいえない	0.7%	1.7%	4.8%	14.5%	6.2%
	よく理解していた	0.0%	1.0%	4.8%	25.3%	5.5%
	とてもよく理解していた	0.0%	0.3%	0.7%	5.2%	2.1%

※予測される状態と対応方法について説明があつたという方に限つて集計した。

結果 10. 訪問看護師の回答と家族の回答の比較

10-1. 夜間休日の連絡方法の事前説明

事前説明の有無について比較したところ、97.1%で回答が一致した。訪問看護師側が「説明はあった」と回答したものの、家族側が「説明はなかった」と回答した事例は8例(2.6%)あった。

表 402 夜間休日の連絡方法の事前説明の有無の比較 (n=311)

		家族			
		はい		いいえ	
		度数	割合	度数	割合
訪問看護師	はい	302	97.1%	8	2.6%
	いいえ	1	0.3%	0	0.0%

最初の連絡機関に関する回答を比較したところ、訪問看護師側が「訪問看護ステーション」と回答したものの、家族側が「いつも診てもらっている医師」と回答した事例が6.7%あった。

表 403 夜間休日の連絡時の最初の連絡機関に関する回答の比較 (n=268)

		家族						
		いつも診てもらっている医師	いつもとは別の医師	診療所の看護師	訪問看護ステーションの看護師	ケアマネージャー	特定の人・機関の指定は受けていない	その他
訪問看護師	診療所	6.7%	0.0%	2.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%
	訪問看護ステーション	6.7%	0.0%	0.0%	74.6%	0.4%	0.0%	0.7%
	その他	1.1%	0.0%	0.4%	4.1%	0.0%	0.4%	1.5%

※夜間休日の連絡方法について説明があったという方に限って集計した。